



▲息の合った美しい音色が響き渡りました

揖斐川中学校吹奏楽部定期演奏会

～息の合った美しい音色～

8月19日(日)、揖斐川町中央公民館で揖斐川中学校主催の「第38回定期演奏会」が行われました。

この演奏会は、3年生の部員にとつては部活動の最後を締めくくる演奏会で、1、2年生の部員と併せて30人が練習の成果を披露しました。

3部構成で行われた演奏会は、第1部をオリジナルステージとして「となりのトトロ」や行進曲でおなじみの「ワシントンポスト」などを披露。第2部は、金管や打楽器などのアンサンブルステージ、第3部のポップステージではAKB48の曲などが披露され、来場者を魅了しました。



▲堀部署長から表彰状を受ける児童たち

交通安全の取り組みに感謝状

～揖斐署から春日小学校へ～

9月3日(月)、交通安全教育や啓発活動の推進に積極的に取り組んだとして、揖斐警察署から春日小学校に感謝状が贈られ、贈呈式が春日小学校で行われました。

春日小学校は、7月に開催された岐阜県交通安全少年団自転車安全大会に揖斐郡代表として出場したほか、児童が高齢者の交通安全を願って書いた「命の手紙」を祖父母に手渡すなど交通安全に積極的に取り組みました。春日小学校の後藤校長は「子どもたちが様々な取り組みをがんばってくれました。日頃から交通事故だけでなく安全安心に気を配っている成果です。」と話されました。



▲和太鼓「凜」の演奏 右が「しずか」さん

第3回芸能の夕べ

～伝統的な邦楽で観客を魅了～

9月8日(土)、「第3回芸能の夕べ」が開催されました。今年も三輪神社境内で実施予定でしたが、雨天のため揖斐小学校体育館で行われました。

このイベントは、町の中心市街地を活性化させようと、地元的女性らで実行委員会をつくり毎年開催されています。

演奏会には、県内で活動する3団体が出演。特に、和太鼓の女性ユニット「凜のしずか」さんは、脛永在住で地元での演奏を大変喜んでいました。篠笛、和太鼓、現代津軽三味線の伝統的な邦楽に来場者は魅了されていました。



▲叙勲の伝達が行われました

叙勲(旭日単光章)受章

9月12日(水)、旭日単光章を受章された宮崎憲司さん(北方町)に宗宮町長より伝達が行われました。

宮崎さんは、昭和46年4月に徳山村議会議員に初当選し、以降藤橋村への編入合併に至る昭和62年3月31日までの間に11年11か月の長きにわたり徳山村議会議員として在職され、その間、副議長を3年10か月間歴任し、議長を補佐して議会の円滑な運営に尽力されました。

また、徳山ダム建設や藤橋村との合併協議において議会の取りまとめや協議会での調整などに卓越した手腕を発揮されました。これらの功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。

**揖斐川町敬老会**

〈各地区で長寿をお祝い〉

9月14日(金)に坂内広瀬、坂本、川上、諸家地区、15日(土)に揖斐川、谷汲、春日、藤橋地区、16日(日)に久瀬乙原、東津汲、小津、檜原、西津汲、外津汲、三倉、日坂地区で、町内在住77歳以上の方を対象に「平成24年度 揖斐川町敬老会」が開催され、1484人の方が参加されました。

この行事は、長年にわたり社会に貢献されてきた高齢者の皆さんを敬愛し、長寿をお祝いする目的で行われています。

宗宮町長は式典で「長年にわたり、地域の発展に貢献されてきた皆さんの長寿を心よりお祝い申し上げます。町づくりで最も大切なものは地域であり、地域のことを一番よく知っておられるのは皆さんです。揖斐川町がますます元気な町となり、飛躍していくために、これからも温かいご指導・ご支援・ご協力をお願いいたします。」と式辞を述べました。

各会場では、式典のほか、地元の子園児や児童、ボランティア団体などによる多彩な催しが行われ、参加者の笑顔で溢れていました。



▲谷汲地区敬老会



▲揖斐川地区敬老会



▲久瀬三倉地区敬老会



▲春日地区敬老会



▲坂内広瀬地区敬老会



▲藤橋地区敬老会



▲ふれあい伝承センターでの白檜踊

9月16日(日)、白檜神社などで白檜踊りが披露されました。  
白檜踊りは、およそ800年の歴史を誇り、源氏の武将が平家に勝利したことを祝って踊ったのが由来とされ、江戸時代に日照りが続いた際に、大垣藩主の戸田家が命じて踊ると雨が降り、その功績を称え、その家紋である九曜星を付けることをゆるされたとされている伝統の舞です。  
踊りは、白檜地区の公会堂、光蓮寺、白檜神社(ふれあい伝承センター)の3か所で披露され、クジャクの羽根のような五色のシナイを背負った踊り子は、笛や鐘の音に合わせ、胸に抱えた太鼓を打ち鳴らし勇壮に踊りました。

## 白檜踊

地域ぐるみで伝える



▲安全祈願祭の様子

9月19日(水)、きよみず幼稚園の新園舎建設工事の安全祈願祭が、建設予定地の清水小学校グラウンドで行われ、関係者約40人が出席しました。  
きよみず幼稚園は、現在の園舎が昭和46年に建設され、40年以上が経過しており、老朽化とともに耐震性が懸念されるため新築することとなりました。新園舎は、木造平屋建て約565平方メートルで、来年3月に完成の予定です。  
宗宮町長は安全祈願祭の後「小学校に併設して建設することによって、子どもたちが安心・安全・快適に育ち、さらに地域のまとまりが強くなることを願っています。」とあいさつしました。

## 新園舎建設安全祈願祭

きよみず幼稚園



▲認定書の交付を受ける生徒

9月21日(金)、揖斐川町役場で第15回中学生海外研修派遣事業認定書交付式が行われました。  
この事業は、マラソンで交流のあるアメリカ ユタ州 セントジョージ市に町の将来を担う中学生を派遣し、人々との交流を通じて文化・歴史や社会的価値観などを学び、互いの友好関係を深めるとともに国際性豊かな人材の育成を図ることを目的としています。  
参加する生徒たちは「アメリカで多くのことを学び、その後の学校生活や地域での活動に生かしていきたいです。」と話していました。  
町内中学校の代表派遣生徒17名は、1月17日(木)〜25日(金)の間セントジョージ市で海外研修を行います。

## 第15回中学生海外研修派遣事業認定書交付式



▲揖斐川健康広場での清掃活動の様子

9月22日(土)、町内の土木・建設水道、電気事業者(全62社)が組織するボランティア団体「セフティネットいびがわ」(会長 久保田一成)が、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の会場である揖斐川健康広場と揖斐川特設カヌー競技場およびその周辺道路で清掃活動を行いました。久保田会長は「岐阜県で国体が開催されるのは47年ぶりです。美しい町にして、揖斐川町を訪れるお客様に気持ち良く過ごしていただきたい。」と開始式であいさつされました。  
「セフティネットいびがわ」は、道路の清掃など様々なボランティア活動を通じて地域に貢献されています。

## 清掃ボランティア

セフティネットいびがわ

レーザー光線で交通安全啓発

～揖斐警察署～

9月22日(土)～27日(木)の18時～18時30分にかけて、揖斐警察署が県内の警察署で初めて、警察署の外壁にレーザー光線を当てて文字や絵などを映し出す「レーザービルボード」を使った交通安全・防犯の啓発を行いました。

レーザーで映し出された標語は、「秋の全国交通安全運動」、「空き巣・忍び込みに注意!」、「地域で守ろういびの安全」など10種類です。

22日に行われた点灯式では、揖斐警察署の堀部署長が「広報啓発は、様々な取り組みが必要です。このようにインパクトのある手法でより一層の交通安全と防犯に取り組んでいきたいと思えます。」とあいさつされました。



▲レーザー光線で揖斐署の外壁に浮かぶ啓発文字

夜空に浮かぶほうろ

～川上ほうろ踊り～

300年以上前から伝わる「川上ほうろ踊り」が9月22日(土)、坂内地域の八幡神社例祭で奉納されました。

川上ほうろ踊りは、農作物の収穫に感謝し、雨乞いを祈願する踊りとしてはじまったとされています。踊りは総勢約30人で、ほうろを背負った太鼓打ちと警固と呼ばれる着物姿の子どもたちが踊ります。

踊り手が背負う「ほうろ」は、白い綿の塊で飾られた竹が前の日に準備され、竹の長さは、5メートルほどあります。

夜に行われるこの踊りは、鐘や太鼓をたたき、薬師堂や八幡神社で披露され、飾られたほうろは、賑やかな音色とともに、夜空に舞いました。



▲薬師堂前でのほうろ踊り

坂内坂本神の踊り

～坂本神の踊り～

9月23日(日)、坂内坂本地区で秋の大祭が行われ、神の踊りが五社神社で披露されました。

神の踊りは、400年ほど前より伝わる芸能として受け継がれており、五穀豊穣と家内安全を祈願します。

踊りは古調を正しく伝えて風情豊かに踊られています。全国の民俗芸能の中で質の良い風流太鼓踊りだとされています。現在は、坂本神の踊り保存会(会長 平野克彦)が伝承しており、地元の小学生から50代までが地域ぐるみで保存しています。

華やかな衣装に身を包みゆつたりとした独特な舞は多くの観客を魅了しました。



▲11歳～24歳の若手7人が舞を披露

秋の全国交通安全運動

～ミナモダンサーズも活躍～

9月24日(月)、秋の全国交通安全運動の一環で、交通安全街頭指導が揖斐警察署前国道303号で行われました。街頭指導は、揖斐警察署員、交通安全対策協議会、交通安全主女性、揖斐建設業協会等のメンバー約80人が交通安全啓発グッズを配布しました。

今回は、よさこい踊りチーム「いびがわMAX」の4人の女性で構成するミナモダンサーズが手作りのミナモ衣装を身にまとい啓発活動に参加しました。

また、9月21日(金)～3月15日(金)までの期間で、通学路専門の交通指導員4名が委嘱されました。子どもに対する交通安全をさらに強化した取り組みで事故のない町をめざします。



▲ミナモと一緒にミナモダンサーズも交通安全啓発



▲ゲレンデに光のアートが描かれました

第3回キャンドルフェスタ開催  
3500個の手作りランタン

9月29日(土)、揖斐高原貝月リゾートで第3回キャンドルフェスタが開催されました。

このイベントは、スキー以外の揖斐高原の楽しみ方を提案しようとして、一般財団法人いびがわが主催しています。ペットボトルを利用して作製した約3500個のランタン(約3500個用意され、幻想的な光景が広がっていました。)が貝月ゲレンデに並べられ、幻想的な光景が広がっていました。訪れた親子らは、「きれい」と感嘆の声をあげて幻想的な雰囲気を楽しんでいました。

また、野外ステージでは、三味線や和太鼓の演奏も行われ、ゲレンデに広がる幻想美を音楽で演出しました。

セントジョージマラソン  
国際交流事業

10月3日(水)から10月10日(水)まで、アメリカ・ユタ州・セントジョージ市とのマラソン交流事業が行われました。9名の派遣団のうち、昨年のいびがわマラソンで優秀な成績を収められたランナーを含む6名が、10月6日のセントジョージマラソンに参加し見事完走されました。成績は次のとおりです。(敬称略)

高橋 雅一	2時間31分35秒	(男子フル)	12位
林 亜沙美	3時間42分53秒	(男子フル)	421位
高橋 豊和	3時間36分33秒	(男子フル)	847位
野原 麻衣	4時間14分9秒	(女子フル)	1123位
栗田 芳郎	6時間6分28秒	(男子フル)	3016位
中川 聡	5時間52分41秒	(男子フル)	2969位



▲スタート前の記念写真  
(町内優秀ランナーの高橋さん【右から2人目】と野原さん【前列右】)

走れエコパッカー車事業  
作品審査12点が入選

9月18日(火)町内の子どもたちが環境保全を願って描いた絵画を募った「走れエコパッカー車事業」(NPO法人いびがわみずみずエコステーション主催)の作品審査会が行われ、パッカー車(ごみ収集車)の車体を飾る作品12点が決まりました。この事業は、子どもたちの環境やリサイクルへの関心を高めようと、平成14年から始まりました。

今回は、幼児から中学生まで71人から応募がありました。

入選作品は、縦1メートル、横1.2メートルに拡大コピーして、12月ごろから約2年間、町内でごみ収集を行うパッカー車6台の車体に張り付けられます。



▲作品審査の様子

入選者の皆さんは次のとおりです。

- 香田 啓汰さん (やまと幼稚園)
- 加納 幸樹さん (揖斐小1年)
- 長柄 佳那さん (揖斐小2年)
- 名和 凛々子さん (揖斐小2年)
- 伊藤 亜美さん (揖斐小3年)
- 小川 理子さん (揖斐小3年)
- 国枝 晃平さん (揖斐小4年)
- 細野 昂矢さん (揖斐小5年)
- 出口 希奈律さん (揖斐小6年)
- 谷口 琴音さん (小島小2年)
- 池戸 陸さん (清水小2年)
- 井口 真凛さん (大和小4年)

